

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 9 月 16 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201195		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム桃太郎		
所在地	広島市西区小河南町1丁目8番1号 (電話) 082-235-2940		
自己評価作成日	令和5年8月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490201195-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者様に心穏やかに暮らしてもらうため、家庭に出来るだけ近い環境で、ご利用者の方々が安心して生活を送れるよう、家族の気持ちで介護する事を念頭にしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>経営理念にもあるように「お客様のために」、事業所目標の「私たちはやさしさと思いやりを大切に安心、安全な介護を行います」を基本に、どんな場面でも利用者や家族の立場に立って考え日常生活の自立支援をしている。日常生活動作で洗濯物干しやお盆やテーブル拭き等、できることは一緒に取り組み、生活力を維持できるよう活動している。居室は一部屋ずつ壁紙や窓の形が違い、自宅での馴染みの家具を持ち込み、自宅に近い環境で落ち着いて生活できるよう工夫している。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられてからお弁当を持っての花見や夏祭りを開催し馴染みの関係や施設外との関係を復活できるように事業所外の活動を再開している。</p>

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は職員で共有できているもののボランティアなどはコロナ禍の影響で出来ない。各利用者様ごとにその人にとっての「普通の暮らしを可能な限り、実現するためにアットホームな環境作りを意識しながら支援を行っている。	経営理念「お客様のために」を念頭に職員会議で話し合っている。年に1回事業所目標を立てており今年度は「私たちはやさしさと思いやりを大切に安心、安全な介護を行います」として日ごろから利用者や家族の立場で考えて介護するよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナ禍で地域との交流は出来ない。1Fは道路に面しているところがガラス戸になっている為近所の通行人と入居者様が挨拶はすることもある。	職員は地域とのつながりが大切なことを理解し、町内会に入会し年1回の掃除活動や亥の子行事に参加し地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍で地域の人々の相談はないが電話での問い合わせの中で相談等あれば答えている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍で実施できていなかったが、5月以降対面式で運営推進会議が行われ行事や感染症対策の取り組みの報告を行い、又御家族様からの要望・意見等を聞き共有している。	コロナ禍で感染対策のため対面での会議は開催されていない時期もあったが、議事録を送付し施設内の近況報告をして情報共有している。令和5年5月以降は対面会議を開催している。家族の出席人数も多く、意見を聞きやすいよう配慮している。	運営推進会議で家族から出た意見を議事録に挙げて全家族に送付報告しているが、意見に対しての返答を個人にのみ伝えていたため、全家族で返答を共有できる取り組みを期待したい。また、積極的に日常の姿を家族に発信できる取り組みを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	各申請書や報告書の提出時、面会もしくは電話で状況説明や相談をしている。	介護保険の更新申請や事故報告など市町と連携している。虐待の相談等、事業所から積極的に行っている。運営推進会議を開催する時は地域包括支援センターの職員が出席し、事業所の行政報告を連携している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日々のケアの中で疑問に思った事は、その都度職員間で話し合ったり、ミーティングの場で議題にして話し合っている。年2回勉強会を実施し、外部研修にも参加している。ミーティング時にも身体拘束についての状況説明・報告をしている。	年2回の身体拘束廃止の研修を事業所内で実施している。その他、本部の研修にも参加し、出席できなかった職員は資料を見ながら感想を提出し正しい知識を身につけるよう取り組んでいる。玄関の施錠はしているが、フロア内は制限なく活動している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待やグレーな対応に気づいた時には、職員間で注意したり、上司からも注意してもらっている。年2回勉強会をしており虐待についての知識を共有し実施している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	介護現場における権利擁護は勉強会をしたりして知識としてはついているが、時々現場優先になっている時がある。その時は職員間で注意したりしている。法律上の権利擁護については、直接関係する事が少なく勉強する必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時・解約時は対面で説明、改正時には文書で対面もしくは電話等で、直接説明し理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の中で質疑応答の場を設けており、普段の面会時にも意見要望があればお聞きし上司に報告している。	運営推進会議と同時開催される家族会で出た意見を、職員申し送りノートや全体会議などで報告して情報共有している。コロナ禍の面会方法に対する希望をアンケートで聞き取り、家族の意見を参考にオンライン面会を実施した。日ごろの様子を伝える手段を増やし意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング・全体会議に上司も参加し意見・要望があれば意見交換している。ミーティング・全体会議が行われると議事録を作成し代表者まで提出している。	定期的に管理者と職員が面談し日ごろのケアに対する意見や業務改善案を相談できる関係がある。意見が出れば会議などで話し合い対応を決めている。社長に直接意見を伝える意見箱があり、何か提案等があれば紙に書いて投函できる。内容によっては研修などに反映させることもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	1年間の個人目標を立てどれだけ出来ているか、個人又は個人と上司でお互いに評価し、仕事に対してやりがい等持てる様に環境整備している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修・勉強会を実施、研修会には順番に参加する事ができている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	各事業所から参加しての社内研修があり社内でのネットワーク作りは可能な状況であり、社外研修にも参加しているので社外でのネットワーク作りは可能な環境を作っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前より判っている事や、入居後も不安な事や要望をコミュニケーションを取りながら傾聴し本人に寄り添いながら、不安や要望に答えられる様に職員間で共有し関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御家族様から相談・質問がある際にはしっかりと傾聴し、細目に連絡をとる様になっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サマリーなどで情報収集し、入居面談時に本人・御家族様の要望等を傾聴・確認し、ケアプランに組み込んだり、必要な物を準備したりして対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活に必要な事を職員と一緒にしたり、役割を持って頂いてやりがいを感じてもらえたり、出来る様に支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	なるべく面会に来て頂ける様に、こちらから関係を築いたり、御家族様だから出来る事をお願いしたりして、共に本人を支えて行くという関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様からの面会や知り合いの方からの電話などには対応したりして、関係性の維持に努めている。	利用開始時に利用者の馴染みの人や場所を家族に確認している。利用開始後も家族の承諾があれば友人、知人も面会可能である。新型コロナウイルス感染症対策で面会制限時はオンライン面会や電話を利用し、コロナ禍が緩和されてからは対面面会にする等柔軟に対応し、なるべく馴染みの関係が途切れないように努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	机の位置や座る位置を工夫したり、レクリエーションで利用者様同士が関りが持てる様に工夫したりして、孤立しない様にしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ほとんど実施していないが電話などがある方には対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択・自己決定の基本を忘れずに、本人様・御家族様の意向を第1に考え支援している。困難な場合でも何が1番良いかと職員で共有し検討している。	利用開始時に生活歴などを聞き取り日常生活の介護に役立てている。日ごろから選択できる言葉かけを行い、気持ちが表出しやすいように対話をしている。言葉で表すことが難しい利用者については表情や生活歴などを参考にして利用者の立場で考え、気持ちを汲み取り支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サマリーと本人様・御家族様から昔話をお聞きしたり、本人様の好き嫌い等のアセスメントの収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で利用者様1人1人の残存能力の見極めを行い、その日の顔色・表情・バイタル・申し送りを聞き、お手伝い等御自身で出来る事はして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン更新時にはケアマネジャーを介して様々な意見交換を行いながら、利用者様にとって今1番必要とされる支援とは何かを話し合っている。</p>	<p>ケアマネジャーが計画作成を担当し主治医、看護師、介護職員が意見を出し合い情報収集し見直しもしている。家族の意向の聞き取りでは「本人は耳が遠く職員が早口だと何を言っているかわからない」との情報を得て計画書に反映し、コミュニケーションが取りやすくなり表情が明るくなったという事例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>普段と様子が違うと感じる事があれば記録に残しつつ、以前との状態の変化を細かく精査し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>介護に正解は無いのでマッサージ・福祉用具・御家族様など、本人にあった柔軟な対応をし記録に残し評価している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍でほとんど出来てなかったが、最近では近くのスーパーに買い物に行ったりして、生活を楽しめる様になっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医や医療機関とのホットラインは構築されており、特変時にも対応出来る様になっている。</p>	<p>利用開始時に救急対応がスムーズにできるメリットを説明しできるだけ施設の協力医に変更してもらっている。協力医は内科・呼吸器外科・心療内科・皮膚科等の定期的な訪問診療があり、必要時は歯科の訪問診療を受け健康管理に努めている。在宅時からのかかりつけ医が希望の場合は家族対応で受診は可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や訪問看護（1回/W）に気になる事は、相談・アドバイスを受け利用者様の、健康状態の継続に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設からは介護情報の提供、病院からは退院時のサマリーの提供を受け、入院中も必要な場合は情報交換を行い関係作りをしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人様・御家族様・施設・医師とで方針を共有し、安心して終末期を迎えられる様に努めている。	開設以来1件の終末期ケアを実施した経験がある。利用開始時に看取りについての説明を行っている。状態に変化がある時は、状態の説明と方向性を家族と話し合い、方針を決定している。利用者と家族が施設での看取りを希望すれば対応できるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応マニュアルに沿って、落ち着いて行動ができる様に、勉強会や研修に参加したり、体験した人の話を聞いたりして、知識の習得に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難訓練を実施しマニュアルも作成し、どの災害にも対応出来る様になっている。コロナ禍で地域との協力体制は出来てない。	年2回の避難訓練を実施している。実際に利用者も参加し、避難経路の確認をしている。消防署も訓練に立ち会い、良い点や改善点などのアドバイスをもらっている。備蓄も定期的に確認し、1週間分は確保している。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	失礼な接遇にならない様に、上から目線での言葉使いにならない様に注意し、出ていない職員には注意している。	接遇研修を年2回実施している。普段の支援の中で不適切な発言などあれば、その場で注意を促している。利用者のプライバシーが守られるよう申し送りは名前を伏せたり、排泄誘導時は「トイレ」の言葉を伏せたりして対応を工夫している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃から利用者様とのコミュニケーションをしっかりと取り、本人様が希望を伝えやすい環境作りをしたり、判断が難しい時は再度聞き直したりして、希望を伝えやすい環境作りをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	休みたい時は休む、入浴したくない時は曜日を変えるなど、希望に沿う様になっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服を選べれる方は選んで頂いたり、お化粧をされる方はポーチを渡したりして、可能な限り対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は弁当が届く為出来る事は限られるが、行事のある時は希望を聞いたりして対応している。食後の片付けでお盆拭きなどは利用者様と一緒にしている。	普段は配食弁当を利用し食事を提供している。毎月1回以上、行事食や誕生日会の食事を楽しんでいる。誕生者の希望を聞き、好きなものを提供したり利用者の希望で寿司等の出前をとることも多く、おやつをみんなで作って楽しむこともある。テーブル拭きやお盆拭きなど利用者の役割もある。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。	食事はニックス配達サービスを利用して いる為利用者様1人1人に合わせた食事 を提供出来ている。水分量は水分摂取制 限のある方は水分量を量り提供、他の利 用者様は水分摂取後タブレット端末に入 力、摂取量が直ぐに判る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを実施、残存能力をいか し最後の仕上げは職員が確認している。 訪問歯科の受診・アドバイスを受けなが ら連携を取っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄の記録を見ながら声掛け誘導して いる。出来る所はやってもらい出来ない所 を手伝っている。	利用者の状態によって、リハビリパンツ やパット使用で個々に合わせたタイミ グでトイレ誘導をしている。ズボンの上 げ下げ等本人の難しい部分を介助でき ることは行ってもらい自立支援に努めて いる。排便コントロールは起床時に冷た い水を飲んだり、牛乳を飲む等個々に 合った方法を工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取に気を付け、牛乳・ヨーグルト など提供したり、運動やマッサージも実 施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	希望に沿う様に対応している、入浴する 時はゆっくりと入浴出来る様に環境作り をし、入浴後も希望されればお化粧品ポー チを渡して化粧をしたり、爪切りを実施 している。	入浴回数は週2回を基本としている。同 性介助等希望があれば、できる限り希望 に添えるよう柔軟に対応している。体調 に合わせて清拭など代替え対応しており 常時気持ちよく過ごせるよう取り組んで いる。夏場は週2回以外にシャワー浴な ど回数を増やし対応することもある。	

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	居室の環境（明るさ・室温・ベ ッドの高さ・臭気等）に注意し 1人1人の生活リズムに合わせ、 日中居室で休まれたり、夜間の 睡眠に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬情報を活用し効果・副作用な どを確認し服薬間違いのない様 にダブルチェックをしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	日々の軽作業・お手伝いの中で 役割を見付け、本人の意思で引 き受けて頂いており、生きがい を感じられる様にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	コロナ禍でほとんど出来なかつ たが春には花見に出かけました。 現在は施設の周りの散歩や近く のスーパーに買い物に出かけて いる。	春は花見に出かけ、久しぶりの 外出で桜を見ながらみんなで弁 当を食べひと時を過ごした。1 0月には毎年出かけていた菊 花展に行く予定があり、馴染 みの場所にも出かけられるよう 計画し、楽しみとなるよう取 り組んでいる。天気がいい日は 近所の商店まで行き買い物を している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金は施設で預かっており必要 に応じて使っている。		

自己評価	外部評価	項目(1 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持っておられる方もおられます。電話の取次ぎは対応しており、御家族様の拒否がなければ電話を掛ける事もある。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>掃除・整理整頓はもちろん、壁を利用し季節の飾りつけをしたり、トイレの場所や自分の居室が判り易くなる様な工夫を行い、利用者様を不安な気持ちにならない様に努めている。</p>	<p>リビングは窓が大きくて日当たりがよく、外の様子も見えるようになっており天気や季節を自然に感じることができる。ベランダには、利用者が干した洗濯物があり家庭的な雰囲気が出ている。室内は利用者が作った折り紙や塗り絵の作品を壁に飾り季節を楽しめる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング以外に日当たりの良い廊下にもイスを置き、利用者様間でトラブルにならない様にして1人にならずに皆で会話ができる様にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>タンスやTVなど自分の物を持って来て頂いたり、写真を飾ったり居心地良く清潔に、過ごせる様にしている。</p>	<p>居室の入口に顔写真など貼りわかりやすく工夫している。居室内はベッド、カーテン、エアコン以外は自宅から持ち込まれた物で馴染みのある家具やぬいぐるみ等で過ごしやすいように家族と検討して環境作りをしている。衣替えは季節ごとに持参依頼をして利用者や家族との交流の場になるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>動線には物を置かず、歩き易い様に手すりを設置、床にトイレ表示を判り易くし、車イス専用のトイレ・機械浴など自立性と安全性の確保に努めている。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各階の休憩室に事業所理念を貼り共有し、実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナの影響もあり。地域との交流はできていないが1階のリビングから、犬の散歩をされる方や、近所の人とは、窓越しの会釈などはある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナの影響もあり、地域貢献はできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナで当分開催できていなかったが6月から再開し今後偶数月に行う。コロナのクラスターから終息までの報告し。利用者様や家族様の意見を参考にサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の開催が出来ていなかった事もあり市の担当の方と日ごろから連絡は取れていないが、何かあれば相談の連絡をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に身体拘束の研修や勉強会を行い身体拘束を行わないケアに努めています。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的に行われる高齢者虐待の研修や勉強会を通じて不適切なケアを行わないよう、職員間でも互いに注意しあい虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修や勉強会を通して権利擁護についての知識を深める努力はしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際入居者様やご家族様に対して十分な説明を行い、途中で疑問に思われた事や意見などに対しては誠意を持って対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様からの意見は日々の生活の中で、家族様からのご意見は日々の面会や運営推進会議などで知る機会があります。意見などは職員間で共有、議論し可能な限り要望に応えられるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のユニット会議や全体会議等で職員からの意見や提案などを聞く機会を設けている。家族様や入居者様の思いなどを考慮して解決や実行に向けての話し合いを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の意見や思いを言いやすい環境に努め問題が起きたら早めの対応をし、問題解決している。年間目標を上司と相談しながら決めて仕事にやりがいを持てるよう環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	それぞれの能力に合わせた研修への参加や事業所での勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	各事業所から参加の社内研修や市からの研修などに参加し十分ではないがネットワーク作りに努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前情報を職員で共有し入居されてからも積極的にコミュニケーションをとり不安なく安心できるような関係を築くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様からの要望にはしっかり傾聴し可能な限りニーズにお応えするよう努めている。また、職員間でも情報を共有している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前のアセスメントを基にご利用者様の行動を考慮して、必要な対応を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援の基本を念頭に、ご利用者様が出来る事は可能な限りご自分でやっていただくように生活支援を行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様にはこまめに連絡を取り、必要な事をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様と情報を共有し馴染みの人や場所への支援をお願いし、状況に応じた対応をして関係が途切れないよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の相性を考慮したうえで席の配置を考えている。利用者様が孤立しないで皆が楽しめるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現段階では退去後にご相談や支援は行っていません。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択・自己決定というご本人様の意思を尊重しその人らしく生活できるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴をご家族様からしっかり聞き出し入居者様自身からもお話を聞きこれまでの情報の把握を行いサービス向上に活かせるように努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝礼や申し送り、日々の記録から情報の共有を行い個々の状況が常に把握できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様の現状を踏まえ職員や看護師、または面会時に家族様から意見を頂き必要な計画をケアマネが立てている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録は生活行動記録に残っている。些細な事でも入力するようにしている記録は実践や介護計画の見直しに反映されている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>多職種や職員と連携を取り、入居者様に必要なサービスを提供するよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>支援学級の職場体験や折り紙ボランティアのみしか関りがなく外部との関りが難しい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>内科・心療内科・訪問歯科・皮膚科・循環器の往診してもらっている。主治医には24時間連絡を取れる体制が整っており常に相談・報告を行っている。その他の受診は家族様対応をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週定期的に訪問看護が来所し、入居者様全員の健康状態の報告を行い助言や指示を受けている。医師の判断が必要な事に対しては看護師が直接主治医と連絡を取り適切な指示対応を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供を行い、入院中は、定期的に連絡を入れ入居者様の状態確認を行いその都度職員一同情報共有している。退院時は事前に情報聴取カンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変更等の情報共有を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合委の指針」を提示ししっかり内容説明した後、家族様から質問を伺い、同意を得ている。また、状態の変化時には家族様と今後の事を検討する取り組みを行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成して、事前に連絡方法など、対応に対する注意を行い周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや防火・防災訓練等で避難経路を再確認している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の尊敬の念を持ちその人らしい生活が送れるように努めている。言葉使いにも気を付けるように努めている。ケアに対してはプライバシーに十分配慮するよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中で自己決定できるような声掛けや支援を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけお一人お一人のペースを大切にし入居者様の希望に沿った過ごし方ができるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品やお気に入りの洋服選び、本人様の身だしなみやおしゃれができるよう心掛けています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事は配食されたものを提供している為機会は多くないが行事食はそれぞれ出来る事を手伝ってもらい一緒に盛り付けや調理・かたづけ等している。		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>配食センターより食事が届き食事を提供している。食事量や水分量は記録管理を行っている。声掛けにて食事を促し自力摂取が難しい方には一部介助にて食事を摂取して頂くよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。訪問歯科医の指導の下口腔ケアを適切に行っており磨き残しがないように支援している。できないところを手伝うようにケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し個別に対応している。また、定期的なトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取の促しや、牛乳の提供、腹部マッサージ等の支援を行って出来るだけ自然排便に努めるが出ない日が続けば、主治医の配薬による排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴表に基づき、週2回の入浴を実施。体調不良の日などは柔軟に日にちを変更している。入浴時間などは入浴者の希望には添えていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2 ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	安心して良眠出来るよう本人の 希望に添えるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	医療ノートを活用し薬の変更につ いては必ず3日間申し送り、職 員全員で共有している。副作用 については、各自で把握出来て いるが皆が把握できているとは 限らない。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	日々の生活の中で役割として、 出来る事を提供している。楽し みとしては、畑の野菜の水やり や収穫して皆で食したり、毎日 のレクや体操など行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	昨年同様でコロナ禍で外出など は出来なかったが最近はお近 所スーパーや、ホーム周辺の散 歩などを行っているが地域の 人との関わりはない。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	数名お金を所持されているが、 ほとんどの方は5千円ぐらいを 家族了解のもと事務所で預か っている。必要に応じていつ でも使えるようにはしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持参されている方は自由に使用されている。ご家族様との手紙のやり取りも一部の方はされている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>行事の時の写真や季節に応じた飾りを工夫している。トイレや食堂・居室などがわからなくなるよう、工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングから少し離れた場所廊下に椅子を置き日光浴や方向訓練中に一休みできるよ工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に自宅で使っていた家具や馴染みのものを(置物・写真など)を持ってきてもらい、出来るだけ心地よく生活できるよう努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所や、リビングなど分かりやすいように大きく案内が貼ってある。お部屋の入り口には顔写真を貼ったりしている部屋もある。</p>		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日 R5年 10月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2.3	事業所が地域の一員として交流し実践を通じて積み上げた介護知識や介護技術を地域の人々に向けていかせていない。	相談会や勉強会を実施し地域に介護全般の情報を発信する。	相談会や勉強会の日時をポスターや回覧板を使って発信する。	1年
2	4	運営推進会議の内容の発信が出来ていない。	運営推進会議をいかしサービス向上をめざします。	運営推進会議で出た意見などを出席していない地域の方や、家族にも発信する。	1年
3	35	近隣との防火の協力体制が取れていない。	避難訓練等で近隣住民に協力を求めと近隣住民の関りを深める。	運営推進会で発信したり、回覧板を活用する。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。